

平成30年度 安曇野市生涯学習推進市民会議概要

- 1 審議会名 安曇野市生涯学習推進市民会議
- 2 日 時 平成30年8月28日(火) 午前10時05分から12時05分まで
- 3 会 場 安曇野市役所 共用会議室306
- 4 出席者 細田利章委員(会長)、三澤知子委員(副会長)、高橋みち子委員、荻原義重委員、腰原正己委員、千國寛一委員、丸山明男委員、幅修一委員
- 5 市側出席者 橋渡教育長、西村教育部長、危機管理課飯田課長補佐、人権男女共同参画課小笠原課長補佐、地域づくり課金子主査、環境課藤森係長、穂高地域課有賀課長補佐、長寿社会課藤澤課長補佐、子ども支援課丸山係長、健康推進課小林係長、文化課三澤係長、図書館交流課沖係長、生涯学習課白井課長、山口課長補佐、布山係長、白井係長、古畑副主幹
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成30年9月3日

協 議 事 項 等

○ 会議概要

- 1 開 会 白井生涯学習課長
- 2 あいさつ 橋渡教育長
- 3 委嘱書の交付
- 4 自己紹介
- 5 会長及び副会長の選出 会長 細田利章委員、副会長 三澤知子委員
- 6 協議事項
 - (1) 平成29年度各施策の進捗状況及び重点施策について
 - (2) 第2次生涯学習推進計画の平成30年度施策指標及び成果指標について
- 7 閉 会 三澤副会長

○ 協議事項

- (1) 平成29年度各施策の進捗状況及び重点施策について
《各担当係長から説明》

【腰原委員】

「地域の安全・安心を進める活動の推進」について意見です。自主防災組織設置や取り組みに力を入れていますが、自主防災というのは区の活動であり区は自治組織として運営しているので、市で直接いろいろ行う必要はないと思います。この計画では自主防災組織設置数を指標に掲げて行ってきましたが、今後のこの施策としては災害防止の対策や、災害時の避難勧告、避難指示などを出すことを中心に考えるようにしたらどうでしょうか。自主的に避難するときどどのように動いたらよいか、どこへ避難すればよいかというような訓練は必要ないと思います。学習、というのがふさわしいかはわかりませんがそういうことを考えていったほうがいいのかと思います。

【危機管理課飯田課長補佐】

避難情報の発信、避難勧告、避難指示の発令については、地域防災計画や他マニュアル等に基づいて基準等を設けて実施しています。自主防災組織は本来は区で持っている組織ですが、区に入っていない人も対象にしていかなければならないのでそういう組織の形をとっています。この組織が行う訓練内容の指導や相談、また、市総合防災訓練にあわせて各地域の訓練を実施し市との連携をとることを推奨しているほか、地域自主防災会議へ情報を提供し研修していただいたりしています。

【千國委員】

「乳幼児期」の見直し後の目標数値について、過去の実績からしても非常に大きな目標になっていますがこの設定のいきさつはわかりますか。

【生涯学習課山口課長補佐】

資料2で実績を見ますと平成25年度は前年度に比べ4倍の数になっています。児童館業務については平成25年度に指定管理で社会福祉協議会へ管理をお願いするようになり、おそらく当時、この調子でいくと平成29年度はこのくらいの数値となるだろうということで目標値を設定したものと推測します。

【千國委員】

「青少年期」の実績で、児童館利用者数が28年度の99,816人から29年度は91,581人に減っている原因はわかりますか。

【生涯学習課山口課長補佐】

この増減についての詳細は不明ですが、児童館の利用者数はイベントや講座への参加者数などに左右されることもあり、自由来館者も含め年によってばらつきがあります。

【千國委員】

「健康学習の推進」のなかで、29年度実績にある「地域での健康体操教室」参加者が前年比52パーセント減とありますがこの理由は为什么呢。

【健康推進課小林係長】

28年度に2つ実施していた教室が29年度は1つに減ったことによります。

【千國委員】

「生涯スポーツ活動の推進」で、指標の参加者数にある「地区対抗運動会」とは5地域の公民館主催でやっている運動会でしょうか。

【生涯学習課布山係長】

現在は4地域で開催している運動会です。これと分館球技大会等の参加者数を実績としています。

【生涯学習課白井課長】

なお、29年度の地域運動会は選挙等の関係で中止になり、参加者数はその分少なくなっています。

【千國委員】

「情報化に対応した学習の推進」にある学校開放講座のパソコン関係講座は、対象者は高校生なのでしょうか。

【生涯学習課白井係長】

対象者は一般市民の方です。学校開放講座は休日や夜間に学校施設を利用し、学校の先生に講師をお願いして行っているものです。パソコン教室などを利用させていただき実施しています。

【千國委員】

「公民館の機能強化」の実績をみると、豊科公民館の利用者数が5地域で一番少ないですがこれはどういう理由でしょうか。

【生涯学習課白井課長】

豊科公民館の利用者数にはホールの利用者数は含まれていないことと、豊科地域では交流学習センター「きぼう」の施設を利用されるかたも多くいるためと思われます。

【荻原委員】

意見、要望としてですが、「地域の安全・安心を進める活動の推進」に関連して、今年は西日本中心に豪雨等により各地で大きな水害が起きています。安曇野市でも黒沢川流域、万水川の水害が懸念されています。しかし、区のなかで見ても住民の皆さんは水害時の避難方法を知らない方も多く、作られたハザードマップも活かされていないように感じます。これらは各区だけではなく市の大きな課題としてとらえて、この施策にもある出前講座等を増やすなどして水害対策をやっていただきたいと思います。

(2) 第2次生涯学習推進計画の各施策の平成30年度施策指標及び成果指標について
《各担当係長から説明》

【腰原委員】

学習成果の活用ということでリーダーバンク制度の活用についての意見です。講座等で学んだ人が登録し、そして講師となる、というように回転させていくしくみを作っていけば、学んだことが役に立つということになると思います。講座終了時にアンケート以外に「講師をやってもらえますか」を尋ねる用紙を用意する、また公民館で活動しているグループなどにもリーダーバンクに登録いただいて、グループで講師となってもらいたいと思います。当然、講師をやるようになるとさらに学ばないと人には教えられないということで、そういう形がうまくできればと思います。

【生涯学習課白井係長】

貴重なご意見をありがとうございました。今後、アンケート等にリーダーバンクの項目を加えるなどして、講師となっていたいただける人材を増やすように取り組んでまいります。

【幅委員】

成果指標としてアンケートの満足度をあげてあるものが多くありますが、このアンケートの項目や言葉、選択肢数、満足度段階などに一定の統一があってもいいかなと考えます。そうするとそれぞれ個別の施策の満足度を比べてみる時にわかりやすいと思います。

【生涯学習課白井係長】

現在は各担当部署でそれぞれアンケートを作成しており、統一はされておられません。今後、この成果指標について他施策と比較してみることができるようになるためにも、アンケートの項目や満足度の段階などを統一するよう調整を図っていきたいと考えます。